
救命救急センター外来における脳卒中診療対応の実際に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんの診療録を用いた以下の研究を実施いたします。
本研究は、埼玉医科大学国際医療センター臨床研究 IRB の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

対象症例は 2019 年 1 月 1 日から 2023 年 12 月 31 日までの間に埼玉医科大学国際医療センターの救命救急センター外来看護師が患者や家族からの電話相談を受け、脳卒中 3 科(脳卒中外科、脳卒中内科、脳血管内治療科)での受診となったウォークイン患者症例です。

2. 研究の目的

過去 5 年間の間に救命救急センター外来看護師が患者や家族からの電話相談を受け、脳卒中 3 科(脳卒中外科、脳卒中内科、脳血管内治療科)での受診となった症例を振り返るとともに電話対応の取り組みを明らかにすることで、今後更なる対応方法の改善につながると考えます。改善がなされることで更なる患者予後への寄与ができるものと考えられます。

3. 研究期間

病院長の許可後～2026 年 3 月 31 日

4. 利用または提供の開始予定日

研究実施許可後より 1 ヶ月後程度

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

基本属性、基礎疾患、既往歴、意識レベル、転帰、画像検査(頭部 CT、頭部 MRI)、血液検査、処置内容、電話相談内容(相談時の症状、訴えの内容)、受診の有無、受診歴

救命救急センター外来における電話相談マニュアル

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学国際医療センターにおいて、研究責任者である大塚翔太が、個人が特定できないように加工した上で管理します。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

埼玉医科大学国際医療センターの救命救急センター外来看護師が患者さんやご家族からの電話相談を受け、脳卒中3科(脳卒中外科、脳卒中内科、脳血管内治療科)での受診となったウォークイン患者症例の検査データおよび診療記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者(研究実施機関)

・埼玉医科大学国際医療センター 救命救急センター外来 大塚 翔太(研究責任者)

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科国際医療センター 病院長 佐伯 俊昭

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学国際医療センター 救命救急センター外来 大塚 翔太

住所：〒350-1298 埼玉県日高市山根 1397-1

電話：042-984-4111(土日祝日を除く 8:30~17:30)

○研究課題名：救命救急センター外来における脳卒中診療対応の実際

○研究責任者：埼玉医科大学国際医療センター 救命救急センター外来 大塚 翔太